

志免町議第130号
令和4年6月14日

志免町長 世利 良末 殿

志免町議会議長 丸山 真智子

学校プール調査研究

特別委員会委員長 丸山 卓嗣

学校プールに関する提言書

1. 提言

志免町議会では、学校プール調査研究特別委員会を設置し、今後の在り方について検証し調査・研究を行ってきたところである。

その結果として、教育的な面、財政的な面、土地活用に関しての面、3つ要素から判断すると、将来の水泳授業については民間委託を進めることが、志免町の学校教育の充実を図ると同時に、町内外において志免町の教育力向上に取り組む姿勢を示すことが出来ると考え、志免町議会として全校に水泳授業の民間委託を進めることを提言する。

2. 調査・研究の経緯

全国的にも老朽化する学校プールの問題について検証が行われている中、志免町においても学校プールの改修や維持管理、またプール敷地の有効活用など、施設に関連した様々な視点からの意見や見解が出されてきた。

そのような中、志免西小学校プール改修工事を発端に、施設に関連した様々な視点からの意見や見解が出され、プール施設と授業の在り方、プール授業の必要性、学校の限られた敷地の中で西小学童保育建設地としてプール敷地を活用できないか等の問題が浮き彫りになり議論が行われてきた。

これらを踏まえ、志免町のプール施設と授業の在り方について調査、研究を重ね検証と審議を行っていく必要があるとして、令和2年9月議会に学校プール調査研究特別委員会を設置した。

当委員会では、志免町の学校プール施設の現状の確認、志免町で考えられるプール授業の在り方、実施方法の可能性。また、近隣市町村におけるプール授業の在り方を検証し、現在、建替えの必要がある志免東小学校は、民間委託を試行し、東小学校を除く5校については適宜必要な改修を加え、時間的猶予を確保しながら、今後将来の志免町のプール授業の在り方についての方向性を調査・研究してきた。

令和3年6月から志免東小学校にて試行されている水泳指導業務委託先のブリヂストンスイミングスクール志免へ、同年11月22日に当委員会で視察調査を行った。

授業回数は1学年4回、全24回。授業に要する時間はバス移動含め全行程約2時間。授業は児童の泳力に合った習熟度別に指導が行われ、児童15人に対しコーチ1名。学校教員は、引率、指導のサポートなどを行っていた。費用は総額370万円。対象児童498人で、児童1人当たりの費用は7500円。

3. 検証の結果

学校教育課が児童、教職員、保護者、受託事業所にアンケート、聞き取りを行い、児童498人中『良かった』が86.3%。教職員は全員が『良かった』と回答し、泳力に合わせた的確な指導や、施設の衛生面の管理について高い評価であった。また、保護者288人中89.1%が『良かった』と答え、たくさんの感想や意見を頂き、総合的に想定以上の評価の高さ、関心の高さがうかがえた。

以上のことを踏まえ、次の通り東小学校水泳指導業務委託のまとめとして、主なメリットとデメリットを洗い出し、大きく6点の項目を見出すことができた。

(1) 主なメリット

- ① 教職員のプール授業にかかわる負担、時間が削減できる。
- ② 専門的な指導を受けることで泳力の向上が見込める。
- ③ 屋内プールのため、天候に左右されない。
- ④ 屋内プール施設は、館内の室温、プールの水温、換気、24時間ろ過システムなどの設備、管理が行き届いており、感染症対策を含め、水に対する安全管理体制がしっかりと確保できている。
- ⑤ 屋内温水プールなので、一年中で授業を実施できる。

(2) 主なデメリット

- ① 施設までの移動時間。
- ② 施設までの送迎時の安全確保。
- ③ 水泳授業日数の減少。
- ④ 水泳指導業務の民間委託実施の有無で生じる、学校間における泳力格差。

4. 水泳指導業務委託のまとめ

- ① 教育力アップ、体力アップにつながり、町の魅力アップにつながる。
- ② 町内の民間事業所との連携、活用は地域力アップにつながる。
- ③ 教師の働き方改革、水泳授業での負担軽減につながる。
- ④ 水泳教室に通える子、通えない子の泳力、習得機会の格差解消につながる。
- ⑤ プールを自校で運営していく場合の1校あたりの想定経費は、50年に一度想定される全面改修建設費用約2億5000万円、15年に1度想定される修繕改修工事費約1500万円、年間運営費170万円程度などである。全校委託への切替えをすることで経費の削減が期待できる。
- ⑥ プール跡地の土地活用が可能になる。